

農家のみなさま

土砂が大量に流入した水田の水稲管理作業について（第2報）（案）

前回の情報（5/25）は、水管理作業の対応として堆積した土砂の搬出と土砂流入の軽減策についてお知らせ致しました。

今回、流入している土砂を農業試験場において分析したところ、流入した土砂は石灰含量（アルカリ分）が高く、リン酸が乏しく、ケイ酸は水田土壌並みのものでした。

土砂が多く堆積し、イネが黄色くなっている部分では、土壌が一時的にアルカリ性になり、イネが鉄欠乏を起こしていると考えられますので、酸性肥料の硫安を施用して下さい。

「対応」

A（土砂露出）：堆積した土砂を搬出し、イネが黄色い場合は植え替えを行う。

硫安（6～12g/m²）を施用し、2～3日程度、水を保つ。

B（土砂堆積）：イネが黄色くなっている場合は硫安（6～12g/m²）を施用する。

正常イネ部分：無施用とする。

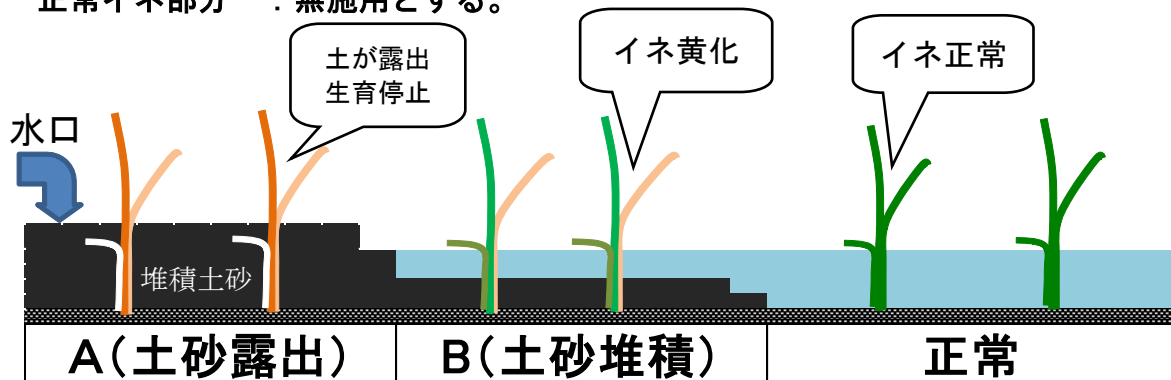


表 流入土砂成分分析結果

	土砂採取地点	pH	石灰 (mg/100g)	可給態リン酸 (mg/100g)	可給態ケイ酸 (mg/100g)
流入した土砂	白山市福岡町	8.5	280	1.25	12.3
	白山市大竹町	8.6	337	0.95	10.1
(参考)周辺の水田土壌	白山市瀬木野町	5.5	187	28.0	9.2
	白山市月橋町	5.9	168	30.6	25.4
	基準値	6.0～6.5		10以上	15以上

分析: 石川県農林総合研究センター

※ご不明な点等ありましたら、最寄りの市、JA、石川農林農業振興部（276-0371）に、お問い合わせください。